

抗 Tem1 (S.cerevisiae) 抗体, ウサギポリクローナル

商品コード	62-215
容量	100 μΙ
保存	-20 °C
濃度	N/A
バッファー	PBS- with 1 mg/ml BSA, 0.09 % sodium azide, 50% glycerol
純度	GST アフィニティカラムで坑 GST 抗体を除去後、抗原でアフィニティ精製
抗原	大腸菌に発現させた GST-全長 Tem1 融合タンパク質
アイソタイプ	ウサギ IgG
反応性	S. cerevisiae Tem1。他の種については試されてない。
アプリケーション	 ウエスタンブロッティング (1/250~1/500 希釈) 免疫沈降
背景	Tem1 は細胞分裂の M 期終了に関わる低分子量 GTP-結合タンパク質である。 Tem1 の障害は致死的であり、 Tem1 障害細胞では高い H1-kinase 活性を伴い終期で止まってしまうが、このことより Tem1 は M 期を脱するのに必要であると思われる。 Tem1 の障害は高 dose のプロテインキナーゼ Cdc15 によって抑制される。 Tem1 は Cdc15 キナーゼの上流で働き、Cdc15 プロテインキナーゼ径路の活性化に必要であると思われる。 Tem1 とキナーゼのカスケードはmitosis を終結させるのに重要な役割をしていると考えられる。
Data Link	SGD TEM1/YML064C
画像	kD 80 60 50 50 40 30 【 Tem1
文献	1. Shirayama M et al "The yeast TEM1 gene, which encodes a GTP-binding protein, is involved in termination of M phase." Mol Cell Biol 14, 7476-7482 (1994) PMID: 7935462 2. Shou W et al "Exit from mitosis is triggered by Tem1- dependent release of protein phosphatase Cdc14 from nucleolar RENT complex." Cell 97:233-244 (1999) PMID: 10219244 3. Lippincott J et al "The Tem1 small GTPase controls actomyosin and septin dynamics during cytokinesis." J Cell Sci 114:1379-1386 (2001) PMID: 11257003 #62-201 抗 Rpn3(S.cerevisiae)抗体 #62-203 抗 Rpn5(S.cerevisiae)抗体
関連製品	#62-205 抗 Rpn7(S.cerevisiae)抗体 #62-207 抗 Rpn9(S.cerevisiae)抗体 #62-205 抗 Rpn7(S.cerevisiae)抗体 #62-207 抗 Rpn9(S.cerevisiae)抗体 #62-209 抗 Rpn12(S.cerevisiae) 抗体 #62-211 抗 Nob1(S.cerevisiae) 抗体 #62-213 抗 Nas6/p28(S.cerevisiae)抗体
※本製品は研究用です。診断および軍事目的に使用することはできません。	